

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎プロジェクト	階数	地上3F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市東海岸南4丁目	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域	平均居住人員	120 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年11月 予定	評価の実施日	2011年11月14日
敷地面積	6,354 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業
建築面積	2,562 m <sup>2</sup>	確認日	2011年11月14日
延床面積	6,215 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.3**

S: A: B+: B-: C:

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

建設 54% 修繕・更新・解体 27% 運用 43% オンサイト 43% オフサイト 44%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境 (敷地内)

LR1 エネルギー

LR3 敷地外環境

LR2 資源・マテリアル

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 3.5**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.9

**LR のスコア = 3.9**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	近年の自然災害に対し地域の防災拠点としても貢献できるような施設であること、昔ながらの別荘地としての茅ヶ崎の歴史・環境を継承したデザインに配慮しています。	その他 特にありません。
<b>Q1 室内環境</b>	南面に配した共用スペースは自然採光を取り入れるように可能な限り開口部(南側開口率: 42%)を設けています。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 既存樹木の調査を実施したうえで活用できる樹木の選定を行っています。
<b>LR1 エネルギー</b>	太陽光発電の採用、LEDの採用など省エネ対策を施しています。	<b>LR3 敷地外環境</b> 近隣に対し光害とならないよう外構の照明は控えめとしています。
<b>Q2 サービス性能</b>	別荘地としての趣を内装デザインにも活かすよう、計画段階からコンセプトの策定し、パース等で検討しながら進めています。	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	再生資源・リサイクル材を使用しています。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
**Q:** Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい